会議記録

高松市附属機関等の設置、運営等に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議	名	令和5年度第1回高松市学校給食共同調理場整備検討委員会
開催	日 時	令和6年3月21日(木) 15時00分~16時00分
開催力	場所	高松市朝日新町学校給食センター 2階 会議室
議	題	南部エリア学校給食共同調理場(仮称)及び東部エリア学校給食共同調理場(仮称)
哉	起	の整備検討状況況について
公開の区分		■ 公開 □ 一部公開 □ 非公開
上記	理由	
出席委	术 吕	次田委員、山本委員、安岡委員、赤阪委員、小比賀委員、中村委員、太田委員、西村
	安 貝	委員
傍 聴	者	2人(定員10人)
担当課	及び	保健体育課 087-811-6300
連絡	先	

会議の経過及び結果

1 開会

2 議題

南部エリア学校給食共同調理場(仮称)及び東部エリア学校給食共同調理場(仮称)の整備検討 状況について

(事務局) 資料2の説明

意見交換(資料全体)

(委員)

資料9ページについて、BTO方式にした場合は、地方債は起債せずに、民間の資金調達をもって、 建物を建てるという理解でいいか。

(事務局)

BTO方式で使用可能な起債については、今後、詳細に検討したい。

(委員)

配送計画における所要時間は、距離×速度で計算をしたのか。もしくは実測したのか。

(事務局)

実測はしていない。地図上での概算である。

(委員)

配送所要時間15分以内は、幼稚園への配送を考慮しているのか。小学校の後に幼稚園を配送する場合、出発時間が早くなる事例があったため、計画段階から考慮して検討していただきたい。

(事務局)

指摘事項について考慮して検討していきたい。

(委員)

建屋の完成竣工予定時期はいつ頃を見込んでいるのか。

(事務局)

現時点で事業手法が定まっていないため、具体的にいつ共用開始できるかお示しできない。

(委員)

東部エリアについて、前回の会議から計画が進行していないように見受けられるが、施設の老朽化 を理由に建替えという話だったか思うが、市として、その緊急性をどう考えているのか。

年月がかかれば私達委員も役職が変わり参加できなくなるため、期限を決めて計画的に進めてもらいたい。

(事務局)

市としても緊急度は十分認識しており、事業候補地を早急に選定していきたい。

(委員)

土地の面積については妥協せずに進めてもらいたい。まとまった面積が確保できることは、作業効率に直結するため、そこは十分に検討していただきたい。

(事務局)

面積については十分に考慮していきたい。

(委員)

今後の計画によるものと思うが、配送計画については、学校行事等の状況に柔軟に対応いただくよう配慮をお願いしたい。特定の学校のみ、常に遅い到着となることがないようにしていただきたい。

(事務局)

全て御要望にお応えすることは困難かと思うが、現在同様、できる限り対応していきたい。

(委員)

高松市学校給食調理場整備指針については、見ることができるのか。

(事務局)

高松市のホームページで公開中である。

(委員)

アレルギー (除去食) 対応はどうなるのか。

(事務局)

小麦、大麦、えび、いか、卵の5品目に対応する。

(委員)

センターとして統合されると、食育、食の指導面が心配である。栄養教諭の配置基準が、6名から 2名となり、指導に行けなくなる点について考慮していただきたい。

(委員)

その栄養教諭の配置人数は、施設規模で変わるのか。

(委員)

施設の受配人数により変わる。

(委員)

最近では、施設で見学コースを広く取るものや、実際に調理している様子を学校に映せるようなシステムを取り入れることもあると聞いている。他市の事例や栄養教諭の意見も聞きながら進めることも重要ではないか。

(事務局)

今後、計画整備、基本計画の中で、食育につながる取組ができるよう検討してまいりたい。

(委員)

食育指導もそうだが、アレルギー対応についても心配である。栄養教諭の配置は、非常に大切であると思うので配慮をお願いしたい。

(事務局)

アレルギー対応や食育指導等に関しても、栄養教諭の必要性は感じている。配置基準があるため、 人数は難しい面もあるが、今後も御意見をいただきながら、対応していきたい。

意見交換終了

(事務局)

本日いただいた御意見を踏まえ、次回の検討委員会では、南部エリア学校給食共同調理場(仮称)整備基本計画策定及び民間活力(PPP/PFI)導入可能性調査の結果及び事業方式についてお示しし、委員の皆様からの御意見をいただきたい。